

千代田区立神田保育園 東京すくわくプログラム



—子どもたちと自然との出会い—

0歳児から5歳児まで、年齢や発達に応じた「自然遊び」を通じた探求的な活動に取り組んできました。

身近な「光・水・土・風・落ち葉・木の实」といった自然に触れながら、子どもたちが感じ、気づき、試し、友だちと共有する姿を大切にしています。



0歳児：「光」をテーマに、明るさや影、揺れる光に自然と目を向ける時間をつくりました。



1歳児：風や光を感じる園庭活動では、紙テープやビニール袋を使って風の動きを感じたり、カラフルなシートの下で影遊びを楽しんだりしました。



2歳児：水に触れて試す水と、花や葉っぱといった自然物を組み合わせた水遊びでは、音や形、流れの変化を五感で味わう姿が見られました。

3歳児：土に触れて見立てる「土のチョコパフェづくり」と見立てた泥遊びでは、水の量を調整しながら、感触の違いを楽しみました。



4歳児：落ち葉に触れ、色や形、音や感触の違いを楽しむ活動を行いました。気づいたことを言葉や遊びで表していました。友だちと発見を共有する中で、自然への関心が広がり、遊びが深まっていく姿が見られました。



5歳児：木の実で探究する竹コースターを友だちと協力してつなぎ、木の実を転がす遊びでは、試行錯誤が繰り返されていました。一人では難しい場面を、友だちと相談しながら乗り越える経験は、5歳児ならではの探究の姿です。